福祉機器利用者アンケート その2

〈写真と本文とは関係ありません〉

4. 開発や利用についての意見・要望

「利用者の意見を反映させた製品の開発を」「すぐれたデザインの製品を」「安くて安全な製品を」と言った意見が多く寄せられたなか、「体温調整ができない人が外出する時に使用する用具」とか「フットブレーキのある電動車いす」など具体的な機能を求める要望がありました。

（フリーアンサー抜粋）

- 普通のデザインのものが少ない。高齢者用と一目で分かるような花柄や色・デザインのものが多い。
- 歩行するのに、ひざを補助してくれる器具が欲しい。
- よりシンプルな操作で力の弱い人でも使用可能なものを、いろいろ作ってもらいたい。
- 一つの製品で人によって長さや大きさが自由に変えられる福祉機器がもっと増えることを望む。
- 車いす利用者が集合住宅の玄関ドアのカギを1人であけられない。
- 体の硬直が強い方（半身のみなど）が乗りやすい車いすを希望。きちんとした座位が保てないと利用者のお尻や背中に負担がかかるため、車いすに座るとつかれてしまいすぐ横にならざるを得ない方が多く残念。
- 聴覚障害者が使える機器をもっと増やして欲しい。
- 体温調節ができない。夏場の外出時に使用するよい用具がないか捜している。現在は車いす用のアイスノンと、クールベストを使用。
- 利用者がフットブレーキのある電動車いすを捜していたが、機種が少なかったのか見つからなかった。
- 傾斜がきつくても使用できる階段昇降機が欲しい。エレベーターがない市営住宅だが、傾斜がきつくて、レンタルも工事もできず、4人がかりで車いすにのせたまま階段を昇降している。
- 座り込んでいる高齢者を比較的簡単にいすに座らせることの出来る機器・用具はないか。
- 義手の更なる開発をして欲しい。義足は比較的進歩している。

5. 機器に対する不満

「機器に対する不満」に対してもフリーアンサー形式で回答を得ました。どの製品にも共通しているのは、「価格が高い」「製品が重い、大きすぎる」「デザイン性が乏しい」「自分に合わない、もしくは使用していて合わなくなった時の調整がきかない」などです。個々の製品に対する主な不満は次のとおりです。

（フリーアンサー抜粋）

手動車いす
- 体調により座り方が変わるので、多少幅・高さ・奥行などの調整ができると良い。
- 修理をどこに頼んだら良いのか分からない。
- 使っている部品がメーカーによって様々なので修理の時に困った。

電動車いす
- バッテリー切れが多くなってきた。また、バッテリーを注文してもすぐに入荷されない。
- 周囲の人の視点が違うため、店舗等で買い物の最中に接触してしまう事が多くある。
- モーターの音が非常に大きい。

歩行器
- ブレーキレバーを左右個々に握るので扱いにくい。
- 取手が高すぎて、小柄な人は、ひざ、こしを支える力が入らない。手の力を利用できるよう、取手の位置は低目の位置がいいと思う。

杖
- 先端のゴムがすぐへる。雨天時にスリップしやすい。
- 体重をかけていると手や指が痛くなる。
- 折りたたみ式の杖を使用しているが、通院に使用すると杖の折りたたみ部分が硬くはまってしまい、折りたたむことができなくなる。
- 握る部分がT字ものを使用しているが、握るT字部分が太すぎる（パーキンソン病・手指変形）。

ベッド
- 背もたれは上下するが、足のひざ下が曲がらないので利用者の体位がくずれる。
- 使用頻度の高いリクライニング機能が故れやすい。
- 夜間の転落が不安なので、もう少しベッドを低くできるようにして欲しい。

マットレス
- 夜間、エアーの抜ける音が気になる。
- 厚みがあって深く腰かけることが出来ないので、危険を伴う。

シャワーチェアー
- 座面が高いためか、深く座ることがむずかしい。
- 座面のスポンジのような部分にすぐにカビがはえてしまう。
- 軽さを重視した製品は後方へ転倒しやすく、細かいつくりの製品は洗いづらい。

ポータブルトイレ
- 木製の物は重い。プラスチック製は軽いが、座位が不安定な方が使用すると恐い。
- 高さの調整をしにくいので、めんどうになり使いにくい高さで使ってしまう。

おむつ
- 高齢だが自分でパンツ型を利用している。ただうしろに手がまわらないのできちんとした装着ができない。
- 蒸れる。長時間対応の製品が増えるのは良いがそれに伴い、オムツかぶれ、尿路感染症などの発生率が高くなっていると感じる。
- ウエストで合わせると足のつけ根からもれてしまうなどフィッティングの選択肢が少い。

手すり
- 高齢の親の背が低くなって来たが、手すりの高さの調節ができない。

階段昇降機
- 安全装置がはずれやすい。大きくて扱いづらい。

筋肉トレーニング機
- 本人があきてしまってなかなか使わない。使用することが楽しくなる工夫が欲しい。

入浴用リフト
- ぐらぐらして安定感がなく使いづらい。電池の充電が大変。

まとめ

福祉機器においても常に新しい製品が開発・販売されています。購入にあたっては、専門機関と相談し、身体状況や生活環境にあった製品を選んでください。

また、最初にフィッティングした製品でも、使用しているうちに身体状況が変化し調整が必要になってきます。購入に当たってはその製品がどの程度調整が可能であるか、将来を見据えて製品の購入を決めてください。そのため、購入時には、製品のメンテナンスと調整についても確認することが重要です。製品に不満を抱えながらの使用は、自立を阻害する要因とも成り得ますので、慎重に選択されることをおすすめいたします。

〈写真と本文とは関係ありません〉

［次回開催］
第35回国際福祉機器展 H.C.R. 2008
Next 35th Int. Home Care & Rehabilitation Exhibition 2008

次回のH.C.R. 2008は、平成20年9月24日（水）～26日（金）にかけて、東京ビッグサイトで開催いたします。

本会では、今後とも福祉機器の開発と普及の促進に努めてまいりますので、引き続き、関係各位のご協力、ご参加をよろしくお願い申しあげます。

● **会　期**
2008年9月24日(水)～26日(金)

● **会　場**
東京ビッグサイト東展示ホール